

取組実績については、以下のとおり

i) 住宅所有者に対する直接的な耐震化促進

	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
戸別訪問の実施件数	35	74	63	95	0	50
ダイレクトメールの送付件数	0	0	0	0	319	0

ii) 耐震診断実施者に対する耐震化促進

資料編のとおり

iii) 改修事業者の技術力向上

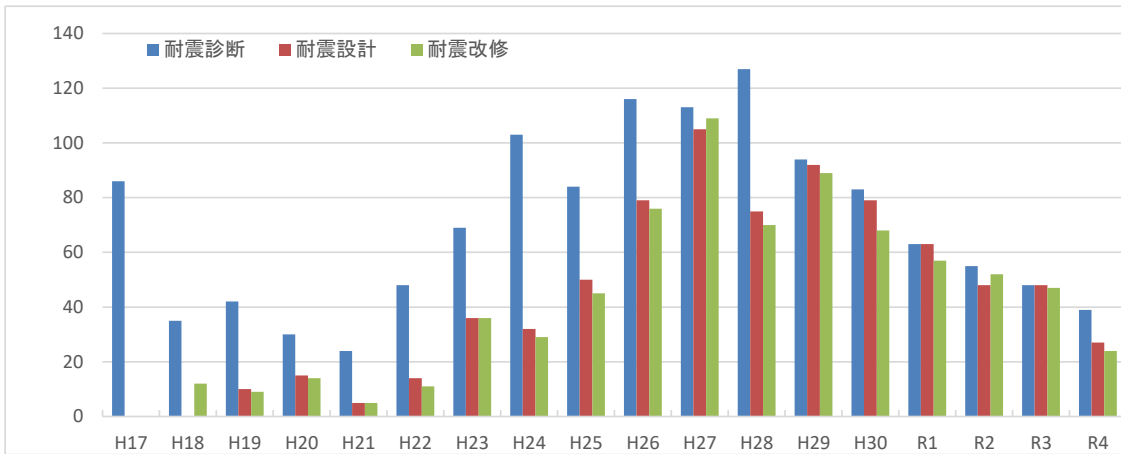
	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
耐震診断士講習会	2	4	2	2	4	3
低コスト工法講習会 (名古屋工業大学高度防災工学センター共催)	2	2	2 (オンライン)	9月~2月 (オンライン)	—	2(対面)、9月~2 月(オンライン)
低コスト工法講習会 (県主催)	—	—	—	—	—	—
事業者登録推進講習会	3	3	0	1	2	2
耐震改修技術学校	3回× 1会場	4回× 1会場	0	0	—	2回× 1会場
耐震補強工事実務講習会	5	—	—	—	—	—

iv) 一般への周知普及

	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
広報誌等への掲載	6月	9月	6,11月	9,12月	7,8月	9,12月
イベントでのブース展示	11月	11月		11月	11月	11月
庁舎内パネル展示			11月			

○耐震改修の実績

(棟数)	H30	R1	R2	R3	R4	R5 (予定)
耐震診断	83	63	55	48	39	
耐震設計	79	63	48	48	27	
耐震改修	68	57	52	47	24	60



○前年度の取組内容

香南市主催のパネル展で、住宅耐震のブースを設置し、パネルや模型の展示、チラシ配布を行った。
 自主防災組織連絡会で住宅耐震化の啓発と補助制度の周知を行った。
 市HPで補助制度の周知を行った。
 昭和56年5月31日以前に建築された住宅のうち戸別訪問未実施家屋等に対し、宛名を明記したダイレクトメールを送付

○見えてきた課題

地震があると来庁や電話の問い合わせが若干増える傾向が見受けられることから、関心を決断に向かわせる啓発内容に工夫が必要である。問い合わせの内容からは、まだまだ補助金制度の周知が行き渡っていないと感じる。
 R5年3月に送付したダイレクトメールには、補助金制度を利用した改修工事実績額の過去3年間の分布をグラフ化して示したり、耐震その他の補助制度の概要チラシを同封するなどしたが、更に視覚効果をあげて読んでもらえる誌面であることが大事である。
 津波避難タワーの建設が進み避難訓練に活用している地域もあるが、避難行動の前段階である揺れから命を守るための対策として重点的に啓発を進めていく必要を感じる。

○今年度の取組内容

総合防災訓練でのパネルや模型の展示は継続して実施する。
 その他、住宅耐震ブースの展示を行っていたイベントがR4で終了したため、他の催しに出展できないか検討していく。
 市のHPでの紹介や広報誌への記事掲載のほか、戸別訪問やダイレクトメールなど個別に関心を持ってもらえる方策を工夫し実施していく。

